



三菱UFJモルガン・スタンレー証券

COMPANY PROFILE

President's message

ご挨拶



取締役社長 兼 CEO

関 浩之

平素より、三菱UFJモルガン・スタンレー証券をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）とモルガン・スタンレーとのジョイントベンチャーとして2010年5月に発足しました。弊社はこれまで、MUFG各社が有する多様なサービスと、モルガン・スタンレーがグローバルに有する投資銀行やウェルスマネジメント分野における卓越した知見やノウハウにより、実績を積み重ねてまいりました。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は2026年度に現行中期経営計画の最終年度を迎えます。これまでも当社は、『めざす姿』を『クオリティNo.1・お客さま満足度No.1』の証券会社とし、お客さまをはじめ

とするすべてのステークホルダーからの強固な信頼を獲得し、社会からリスペクトされる存在になるよう取り組んでおります。また、スローガンとして『Challenge For Better Tomorrow』を掲げ、社員一人ひとりの日々の挑戦の積み重ねにより、お客さまや社会、そして社員にとって今日よりも良い明日、さらに明日よりも良い明後日を創っていく。その結果として弊社のビジネスも着実にスケールアップし、高い目標へ到達するという思いを込めています。

MUFGは2025年10月に設立20周年を迎えました。引き続き、グループ力を一層発揮していくとともに、モルガン・スタンレーとのジョイントベンチャーである強みを活かし、グローバルで多角的な視点と高いクオリティを兼ね備えた金融のプロフェッショナルとして、個人・法人のお客さまはもとより機関投資家のお客さまにも幅広く

ご満足いただけるように最適なソリューションを提供してまいります。

加えて、弊社は持続可能な社会の実現に貢献するため、サステナビリティ経営をこれまで以上に推進いたします。弊社自身のサステナビリティ経営推進はもとより、お客さまがサステナビリティ課題に直面した際に「サステナといえばMUMSS*」と想起され、ファーストコールをいただける証券会社をめざし、役職員一人ひとりがプロとしての専門性を磨きこみ、変革へのチャレンジを続けてまいります。

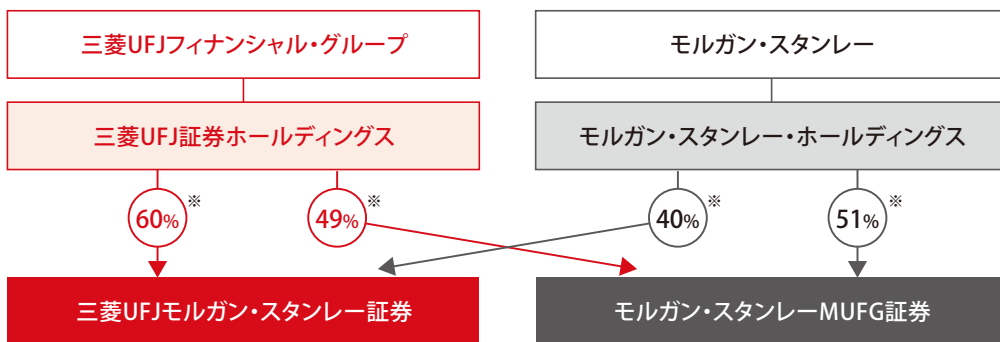
お客さま、社会、次世代、社員にとってより良い明日の実現に向けて全社一丸となってMUFGグループのパーパス（存在意義）である「世界が進むチカラになる。」を実現してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会社概要

会社名	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd.
本店・本社所在地	〒100-8127 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
電話	03-6213-8500(代表)
URL	www.sc.mufg.jp www.mumss.com
代表者	取締役社長 兼 CEO 関 浩之
創業年月日	1948年3月4日
資本金	40,500(百万円)
決算期	3月
従業員数	5,688名(2025年3月31日現在)
長期格付	AA [格付投資情報センター] AA [日本格付研究所] A1 [ムーディーズ] A [S&P] A- [Fitch](各格付は2025年8月1日現在)
国内営業拠点数	24本支店、37ブロック(2025年8月1日現在)

主な役員など (2026年4月1日現在)	取締役会長	田村 浩四郎
	副会長	小林 真
	取締役社長 兼 CEO	関 浩之
	取締役 副社長執行役員	浜田 直之 (ウェルス&ミドルマーケット本部長 兼 本支店・投資顧問部・投資運用室の統括)
	取締役 副社長執行役員	別所 賢作 (投資銀行本部長)
	取締役 副社長執行役員	上岡 智之 (市場商品本部長 兼 インベストメントリサーチ部の担当(特命))
	取締役 副社長執行役員	堀川 賢治 (法人本部長 兼 CSO(経営企画部の統括))

資本構成 三菱UFJフィナンシャル・グループ60%、モルガン・スタンレー40%



※議決権比率を表しています。

企業活動の指針

MUFG Wayについて

MUFG Wayは、MUFGグループが経営活動を遂行するにあたっての最も基本的な姿勢であり、全ての活動の指針とするものです。

経営戦略や経営計画の策定など、経営の意思決定のよりどころとし、また、全役職員の精神的支柱として、諸活動の基本方針とします。

Purpose (存在意義)

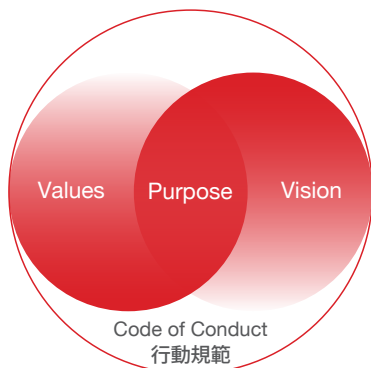
世界が進むチカラになる。

Values (共有すべき価値観)

1. 「信頼・信用」
2. 「プロフェッショナリズムとチームワーク」
3. 「挑戦とスピード」

Vision (中長期的にめざす姿)

世界に選ばれる、
信頼のグローバル
金融グループ



MUFGグループのすべての活動の指針となるMUFG Wayをもとに、私たちの企業活動において羅針盤にしているメッセージです。

Challenge For Better Tomorrow

弊社が中期経営計画において掲げているスローガンです。

一人ひとりの日々の挑戦の積み重ねにより、お客さま・社会、そして社員にとって

今日よりもよりよい明日をめざしていくことで、よりよい未来を築いていくという強い想いを込めています。

「5つの行動指針」

MUFG WayのPurpose(パーパス)とめざす姿の実現に向けて、

全ての役職員が行動する上で大切にしている価値観をまとめたものが「5つの行動指針」であり、私たちのプロフェッショナルとしてのあり方を示しています。

Put Client First

プロとして、お客さまと向き合う。

お客さまに寄り添い、卓越したアイデアで臨みます。

Do the Right Thing

プロとして、正しくある。

自身の行動が、お客さまの人生を左右することを心に刻みます。

Drive to Achieve

プロとして、やり抜く。

妥協を許さず、熱意を持って高みをめざし続けます。

Respect Each Other

プロとして、高め合う。

互いの尊重を大切にし、高め合える関係を築きます。

Be Innovative

プロとして、常に挑む。

社会の変化に、挑み続けることを称えます。

弊社の強み

三菱UFJフィナンシャル・グループとモルガン・スタンレー。両社が誇る世界規模のネットワークと豊かなノウハウで、お客さまのあらゆる金融ニーズにお応えします。

モルガン・スタンレーのグローバル・リーチをお客さまのさらなる力に

MUFGとモルガン・スタンレーとのジョイント・ベンチャーとして2010年5月に発足以来、モルガン・スタンレーの有するグローバル・リーチや卓越した商品サービスを活かし、着実に成果を積み上げています。

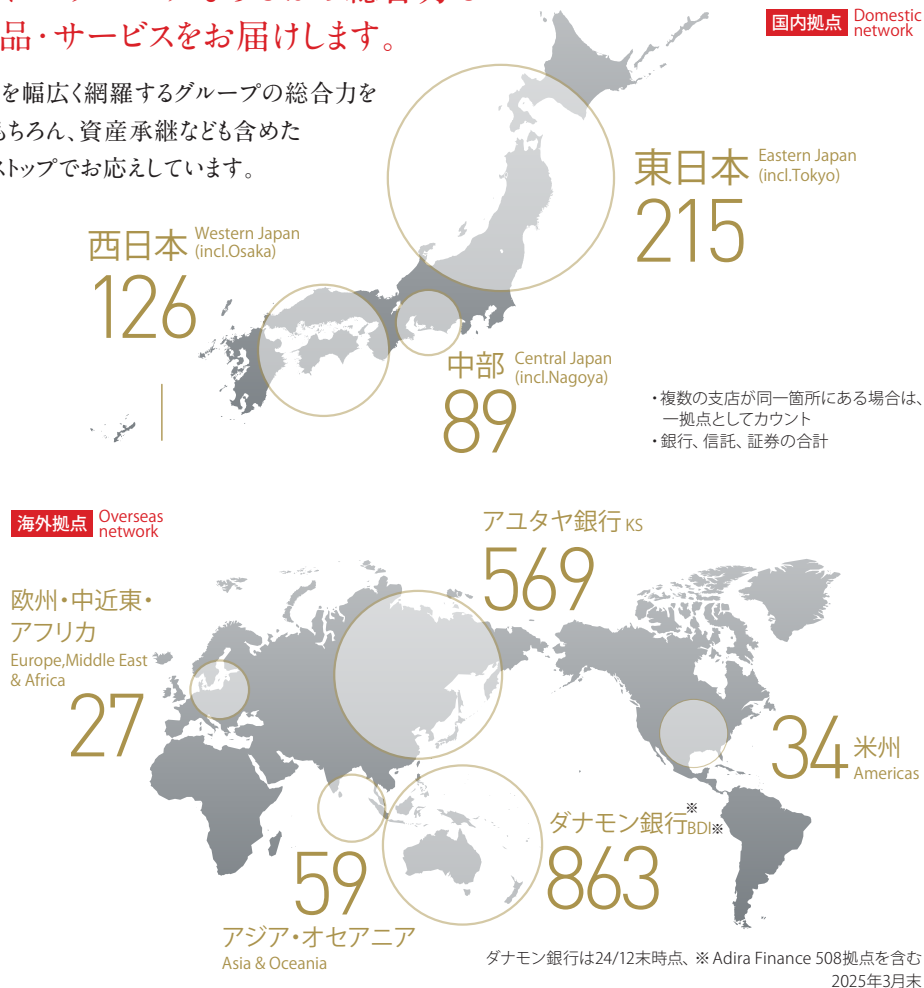
モルガン・スタンレーの
グローバル・ネットワーク

世界
42カ国



三菱UFJフィナンシャル・グループならではの総合力で柔軟かつ多様な商品・サービスをお届けします。

多様な金融商品やサービスを幅広く網羅するグループの総合力を柔軟に活かし、資産運用はもちろん、資産承継なども含めたさまざまな金融ニーズにワンストップでお応えしています。



数々のアワードで認められたノウハウとスキル

三菱UFJモルガン・スタンレー証券では、ノウハウとスキルを結集し、お客さまに最適なソリューションをご提供。各方面から高い評価とご満足をいただいています。



長期格付
(格付投資情報センター、日本格付研究所)*1

AA

日本国債の落札総額(2024年)*2

1位

M&Aアドバイザー *3

1位

債券(国内債+外債)総合シェア *4

4位

国内外エクイティ総合シェア *5

5位

債券・為替アナリスト
エコノミストランキング会社別 *6

5位

The Good Market Makers *7

受賞

Best Investment Bank *8
など 各種アワード

受賞

HDI-Japan主催
「格付けベンチマーク2024年
【証券業界】」*9

HDI 三つ星

DX認定 *10

*1 2025年8月1日現在 *2 出所:財務省 *3 出所:LSEGより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。日本企業に関わる公表案件(含、不動産取得案件)。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む(2024年4月~2025年3月) *4 出所:国内債はLSEG及び同社提供のDeal WatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財機関債値(高速道路債を含む)、地方債などの国内債主幹事リーグテーブルを集計。外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFG証券作成(2024年5月~2025年4月) *5 出所:LSEGより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引き受けにおけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引き受け分、日本企業による海外市場での株式引き受け案件におけるモルガン・スタンレーの引き受け分を含む(2024年4月~2025年3月) *6 出所:2025年3月 日経ヴェリタス(ランキング10位以上を記載) *7 出所:東京証券取引所/The Good Market Makers(2025年3月) *8 出所:「Euromoney誌Awards for Excellence 2024」/ Japan's Best Investment Bank、Japan's Best Bank for ESG (注) 三菱UFJモルガン・スタンレー証券ならびにモルガン・スタンレーMUFG証券2社がMUFGとモルガン・スタンレーによる日本における証券合併事業(JV)として受賞 *9 三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、HDI-Japanが主催する「格付けベンチマーク2024年【証券業界】」の調査において、コールセンターを評価する「問合せ窓口」部門およびホームページを評価する「Webサポート」部門で最高評価となる「三つ星」を6年連続で獲得いたしました。引き続き応対品質向上に努めて参ります。 *10 弊社のデジタルに対する前向きな取り組みが評価され、2022年12月に「DX認定」を取得

サステナといえばMUMSS

金融のチカラで企業の変革を後押しし、
企業や投資家などさまざまなステークホルダーをつないで
資本市場の発展に貢献することは、弊社の大切な使命です。

弊社はMUFGグループの中核証券会社として、MUFGグループにおける全ての活動の指針である「MUFG Way」で定義するパーパス(存在意義)「世界が進むチカラになる。」をめざし、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを進めています。弊社の重要なステークホルダーは「お客さま」「次世代」「社会」「社員」です。この4者へのエンゲージメント活動の推進こそが、中期経営計画のスローガン「Challenge For Better Tomorrow」の実践であり、また弊社が目標とする「MUFGの中核として業界No.1のクオリティを有し、顧客満足度No.1の証券会社」の実現につながります。「サステナといえばMUMSS※」と想起されファーストコールをいただける、最も頼られる存在になりたいと考えています。

弊社は、グリーンボンドなどの組成・引き受けによるお客さまへの本業を通じた取り組み、次世代への金融経済教育、ボランティアや寄付といった社会貢献活動、従業員への取り組みなどを通じて目標の実現をめざしています。



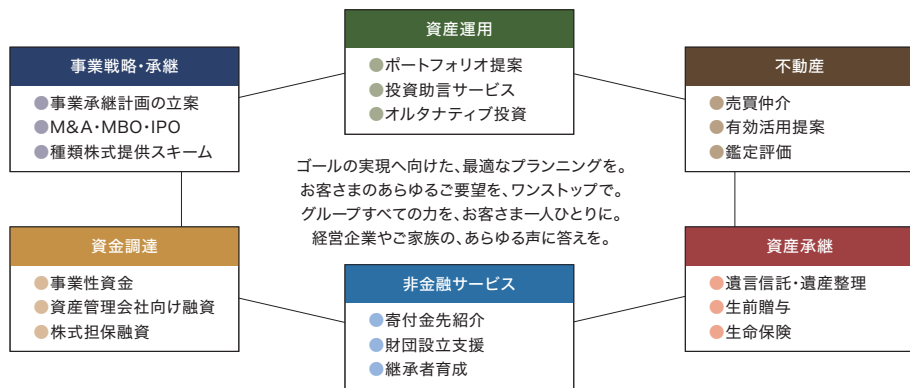
※MUMSS… Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securitiesの略称

ウェルス&ミドルマーケット本部

最高のソリューションを通じて、特別なお客さまがめざす“ゴール”の実現を支えていく。それが、私たちの使命です。

私たちだからこそ提案できる、上質なウェルスマネジメント

富裕層個人、法人のお客さまのニーズは多様化し、またグローバル化しています。お客さまの潜在的な課題・ニーズを、十分に時間をかけてお伺いした上で、ワールドワイドなリソースやMUFGのグループ力を活かし、包括的な課題解決へと導くソリューションをご提案します。



デジタルを活用した資産運用サポートをご提供

資産運用のプロであるリモートファイナンシャルアドバイザー（リモートFA）*が、お客さまに来店いただくことなく、電話やWeb面談などのオンラインツールを活用し、資産運用をお手伝いします。また、弊社独自のサービスである「MUFGテラス・コース」では、手数料を抑えながらも、チャットやメールでプロに投資相談ができるサービスを提供しています。その他、24時間株価や市況を自動でお答える「マーケットAI」や「ポートフォリオ分析サービス」など、豊富なデジタルサービスでお客さまの資産運用をサポートします。

*リモートFAは弊社の登録商標です。

ウェルス&ミドルマーケット本部によるESG推進への取り組み状況

ESGドリブンの徹底

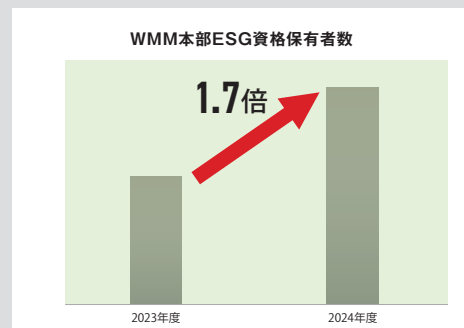
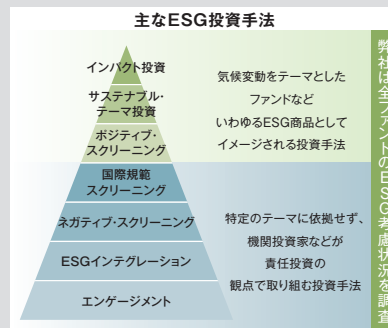
近年、ESG投資はより成熟した段階へと進展しています。投資リターン の獲得に加え、投資を通じた環境問題の解決や地域社会の発展に貢献するという価値観が定着しつつあります。弊社では、ESG投資の透明性を高めるために、取り扱いファンドの運用会社に対して、各ファンドのESG考慮状況を確認してまいりました。今後も、お客さまが安心してESG投資を通じた資産運用を行っていただけるよう取り組んでまいります。

ESG投資表明サポートの加速

当部門では、お客さまのSDGs取り組み貢献への支援として、ESG投資に際しての「投資表明」のサポートを行っています。ESG債券の購入を通じた投資表明に際して、他部門と協働しプレスリリースの文案作成含め丁寧なサポートを実施することで、多くの投資表明を獲得しております。また、債券に限らないESG関連商品の購入・出資を通じた投資表明も支援しています。

ESG推進人材の拡大

弊社では、担当者がESG知見をもってサポートができるよう、ESG関連資格の取得を推進しています。取得者数は23年度比で7割強増加しており、スペシャリストの増加を通じ、ESGの理解・浸透を進めています。



法人本部

資本市場を取り巻く環境をとらえ、
変化の激しい経営環境に対峙する法人のお客さまに寄り添い、
企業価値向上に資する取り組みをサポートいたします。



資本政策・事業戦略などの総合的なソリューションのご提供

お客さまの経営課題の解決や潜在的なニーズに応えるため、
グループが持つ様々な機能や強みを横断的に駆使し、お客さま
がめざす姿の実現に貢献、ビジネスパートナーとしての存在感を
高めます。



財務戦略に関するコンサルティングのご提供

資本効率の向上が企業に求められる現代において、お客さまには多様
な財務上の課題が存在します。政策保有株式売却や不安定な市場
環境など日々刻々と変化する環境も捉え、M&Aや資本構成、株主還元
政策、中長期的な財務目標の策定などグループを通じ多様な金融商
品・サービスをご提供し、お客さまの財務戦略の遂行をサポートします。



環境変化によるお客さまの多様なニーズにご対応

人的資本経営の取り組みや高齢化社会など環境が大きく変動
する中で、投資家への橋渡しとなるIR活動や、従業員の福利厚生
として持株会、株式報酬制度、スタートアップ企業へのバリュー
アップ支援など、MUFGグループ一体となり幅広いサービスを
提供しております。

法人本部による ESG 推進への取り組み状況

発行体と投資家の双方の視点からESGを推進

夫々のお客さまの潜在ニーズに寄り添ったソリューション提案を通じ、
お客さま満足度で高い評価を得ています。



幅広いテーマでESGエンゲージメント活動を展開

昨年度は、環境や社会といった様々なテーマにおいて数百件に及ぶ
ESGエンゲージメント活動を行っています。今後も、さらなるプレゼンスの
発揮に向け、積極的に活動を推進していきます。

エンゲージメント活動を通じてESG経営をサポート

発行体のお客さまに対するESG活動として、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドなど
の潜在的なファイナンスニーズに汲み入れた提案を実施してきました。そのほか、ESGの開示に係る
アドバイズ、ESG商品の運用コンサルティングなどを行っています。

ESG 推進における事例

MUIC Kansaiへの協賛

観光産業をテーマとしたイノベーション創出センターとの連携を通じ、有望なスタートアップ企業のバリューアップ
を支援しています。

グループ連携によるESGスコア改善コンサルティング

ESGスコアの改善に向け、迅速な現状分析とお客さまニーズに基づいた改善策を提案し、MUFG
グループの機能連携も通じて、お客さまのESG活動強化に貢献しています。

投資銀行本部

高品質なサービス提供を通じ、お客さまから信頼されるパートナーとして、総合的、継続的に事業・財務戦略の実現をお手伝いし、日本の産業界の成長、競争力強化に貢献します。

MUFGとモルガン・スタンレーとの ジョイントベンチャーという「強み」を活かして

国内最大の金融グループであるMUFGと、世界トップクラスの投資銀行であるモルガン・スタンレー。双方の持つ経営資源、執行力、ネットワークという「強み」を活かし、お客さまの事業・資本戦略の実現をサポートします。

M&Aアドバイザー、債券引き受け、株式引き受けで 国内トップクラスの実績

ジョイントベンチャーを形成するモルガン・スタンレー・MUFG証券ならびにモルガン・スタンレーと協働して、国内外の主要案件におけるフィナンシャルアドバイザーや主幹事を務めるなど、投資銀行業務でトップクラスの実績を残しています。

最適なソリューションをワンストップでご提供

株式・債券の株式引き受け、企業の合併・買収の助言、不動産証券化関連業務などの幅広いサービスをご提供します。お客さまの産業セクターのスペシャリストと、ご提供するソリューションに関するスペシャリストが連携し、ワンストップでご要望にお応えします。

M&Aアドバイザー（取引金額ベース）※1

順位	アドバイザー	取引金額（10億円）
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	18,801
2	野村證券	14,942
3	ゴールドマン・サックス	12,279
4	みずほフィナンシャルグループ	6,299
5	JPモルガン	5,424

債券（国内債+外債）総合シェア※2

順位	証券会社	シェア（%）
1	みずほフィナンシャルグループ	17.6
2	大和証券グループ本社	16.3
3	三井住友フィナンシャルグループ	14.9
4	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	13.9
5	野村證券	11.9

国内外エクイティ総合シェア※3

順位	証券会社	シェア（%）
1	野村證券	28.1
2	みずほフィナンシャルグループ	14.8
3	大和証券グループ本社	14.5
4	三井住友フィナンシャルグループ	14.1
5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	13.1

※1出所LSEGより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。日本企業に関わる公表案件（含、不動産取得案件）。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む（2024年4月～2025年3月）

※2出所国内債はLSEG及び同社提供のDeal Watch DBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関連債など（高速道路債を含む）、地方債などの国内債主幹事（リーダー）を集計。外債は企業開示情報（Dealogic、Bloomberg、IFR、Informa）のデータを基にモルガン・スタンレー・MUFG証券作成（2024年5月～2025年4月）

※3出所LSEGより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引き受けにおけるモルガン・スタンレー・MUFG証券の引き受け分、日本企業による海外市場での株式引き受け案件におけるモルガン・スタンレーの引き受け分を含む（2024年4月～2025年3月）

投資銀行本部による ESG 推進への取り組み状況

ESG関連ディールの実績

投資銀行本部は、証券会社本来の役割である「発行体と投資家をつなぐ」ことを最大限に活かし、持続可能な社会の実現に貢献するESG案件の発掘・実行に力を入れています。2024年度も、ESGの観点からも注目を集める案件の実績を積み重ねるとともに、案件のプロモーションに努めました。

個別案件

- 九州電力によるトランジションボンドの発行（既設原子力発電所の安全対策投資のリファイナンス）
- PAGグループによる本邦最大級の太陽光発電事業ポートフォリオ売却
- グリーンパワーインベストメントによる陸上風力アセットを対象とする私募ファンド組成
- 水素社会の実現及び日本経済の成長・産業競争力強化に資する国内初の水素ファンド組成案件



取り組みの成果

- ESG関連案件の組成・実行において、業界トップクラスの実績を築いています。
- 発行体と投資家の双方から高い評価を得ています。
- ESG投資家との関係を強化し、資金調達における選択肢を広げています。

エンゲージメント活動～Site Visit

発行体と投資家をつなぐエンゲージメント活動の一環として、Site Visitおよびエンゲージメントセミナーを開催してきました。

関西電力

大飯発電所見学会

四国電力

伊方発電所見学会

東京電力リニューアブルパワー

今市発電所見学会

日本原燃

六ヶ所原子燃料サイクル施設見学会

北海道電力

泊発電所見学会

※五十音順で掲載 ※2024年度実施分Site Visit一例

市場商品本部

日本の金融市場を支えるメインプレーヤーとして、MUFUGグループの総合力、銀証間のリレーションを大きな強みに、国内外のお客さまへ、最高品質の商品・サービスをお届けします。

金融市場におけるトップクラスのプレゼンス

MUFUGグループの中核証券会社として、弊社は日本の市場でトップクラスの存在感を示しています。日本国債の落札順位では常に上位に名を連ねるなど、金融市場への強いコミットメントにより、弊社はメインプレーヤーとして認知されています。

多様なニーズに応える商品供給力

弊社のウェルズ&ミドルマーケット本部や海外グループ会社に加え、MUFUGグループ各社との連携体制のもと、お客さまの潜在的なニーズをいち早くとらえます。また、多様なニーズにお応えべく、商品ラインナップを拡充しています。



日本国債の落札総額※
(デュレーション換算値)上位10社

順位	2023年7月～2023年12月
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
2	野村證券
3	大和証券
4	シティグループ証券
5	みずほ証券
6	JPモルガン証券
7	岡三証券
8	ドイツ証券
9	ゴールドマン・サックス証券
10	SMBC日興証券

順位	2024年1月～2024年6月
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
2	大和証券
3	みずほ証券
4	野村證券
5	JPモルガン証券
6	SMBC日興証券
7	シティグループ証券
8	ドイツ証券
9	岡三証券
10	モルガン・スタンレーMUFUG証券

順位	2024年7月～2024年12月
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
2	みずほ証券
3	大和証券
4	SMBC日興証券
5	野村證券
6	JPモルガン証券
7	シティグループ証券
8	ドイツ証券
9	ゴールドマン・サックス証券
10	パークレイズ証券

※出所:財務省

市場商品本部による ESG 推進への取り組み状況

機関投資家を中心としたお客さまへのエンゲージメント

機関投資家のお客さまと緊密な連携を通じてESG投資に関する情報発信や双方向のコミュニケーションを重視した取り組みを積極的に展開しています。意見交換会、サイトビジット、投資銀行本部と共催のトランジション・ファイナンスセミナーを通じて、ESG投資に関する最新情報や市場動向を共有し、精力的に取り組んでいます。

ESG関連商品・スキームへの取り組み

ESGラベル付き債、投資家保有残高連動型寄付、ESG関連スタートアップ企業向けファイナンスなど、投資家ニーズに合わせた多様な商品・スキームを提供しています。

スマートESG30シリーズ寄付:投資と社会貢献を繋ぐ架け橋

スマートESG30シリーズETNは、投資家保有残高に応じてESG課題解決に取り組むNPOに寄付を行う、革新的な投資商品です。女性が活躍できる社会の推進、脱炭素社会への移行の推進、次世代支援の各ESG課題解消に取り組む活動を支援する3団体に合計1,867,832円の寄付を行いました。

世界初のトランジション国債発行・流通市場活性化への貢献

GX国債マーケティング・サポーターとして、世界初のトランジション国債のIR活動に貢献してきました。今後はJGB・GXプロモーターとしてトランジションファイナンスの専門性を活かした商品企画・開発や流通市場活性化へ貢献し、ESG投資の拡大を牽引していきます。



リサーチ部門

知見豊かな各分野のエキスパートが集結し、幅広い分野の豊富なリサーチ情報を、タイムリーにご提供。お客さまの様々なご要望にお応えします。

業界トップクラスのアナリストたちが 多様なニーズに対応

マクロ経済分析、為替・金利市場分析、クレジット・証券化プロダクトの分析やESG調査など、幅広い分野をカバー。付加価値の高い情報や投資戦略をタイムリーにご提供します。

グローバルな投資情報を豊富に取り揃え、 わかりやすく発信

国内外の投資戦略はもちろん、マクロ動向までカバーできる体制を整えています。産業別、銘柄別、テーマ別レポートのご提供に加え、対面・非対面セミナーなどのイベント、各種情報提供サービスを展開しています。



GMAPでは、グローバル市場の見通しに基づき資産配分を決定する投資戦略を提供し、長期投資を原則としながらも、短期的に投資魅力のある投資機会について、情報提供を行います。

* 機関投資家向けの日本株に関するリサーチ業務は、2024年1月1日、モルガン・スタンレーMUFJ証券に機能統合いたしました。

債券・為替アナリスト エコノミストランキング※1

■会社別

証券会社	順位
三菱UFJフィナンシャル・グループ※2	5

■部門別

業界	順位	氏名
為替アナリスト	2	植野 大作
債券アナリスト	4	六車 治美
債券アナリスト	7	井上 健太
債券アナリスト	9	鶴田 啓介
エコノミスト	7	大島 一宏
クレジットアナリスト	5	安藤 信彦
クレジットアナリスト	10	下松 慈明

※1 出所2025年3月 日経ヴェリタス(ランキング10位以上を記載)
※2 グループの証券、銀行、総研などを合せて集計



弊社のお客さま向けに、インターネット経由で投資情報を発信しています。

リサーチ部門による ESG 推進への取り組み状況

業界トップクラスのストラテジスト・エコノミスト・アナリストを擁し、レポート執筆、セミナー、お客さま訪問を通じ、日々、付加価値の高いリサーチを提供しています。

レポート事例

2024/07/26 国内ESGストラテジー

女性活躍推進指標の考慮

-男女間賃金格差の是正に向け、
取り組み強化の動き-

本レポートでは、企業における女性活躍推進の取り組みを強化するための政策的背景と、資本市場との関連性を整理しています。



2024/11/07 国内ESGストラテジー

ファイナンスにおける生物多様性・ 自然資本の考慮の動向

本レポートでは、金融業界における生物多様性および自然資本の重要性が高まる中で、投資判断やリスク評価における新たな視点を提示しています。

2025/01/28 国内ESGストラテジー

GX経済移行債の資金使途関連のアップデート

-充当レポートの開示と分野別投資戦略の改定-

本レポートでは、GX経済移行債の資金使途の透明性と戦略的方向性を解説しています。

ESG施策①

スタートアップ伴走プログラム(JIVL) / 社員ESGネットワーク(ESF)



女性や多様なバックグラウンドをもつ経営陣が運営するスタートアップに伴走

弊社は、MUFUGの戦略的パートナーであるモルガン・スタンレーが米州と、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域で展開している「Morgan Stanley Inclusive & Sustainable Ventures」を活用したスタートアップ伴走プログラム「Japan Inclusive Ventures Lab」(JIVL)を2024年に立ち上げました。JIVLは、MUFUGとモルガン・スタンレーの強みを生かし、日本における世界基準のスタートアップ伴走をめざしています。

Our Mission

JIVLは女性や多様なバックグラウンドをもつ創業者や経営陣により設立または運営される、日本のスタートアップ企業の事業構築の促進を目的とし、以下の3つのミッションに基づくカスタマイズされたプログラムの提供と出資を通じて、Born Globalで創業初期から世界市場をターゲットにするスタートアップを支援します。

1. 日本においてグローバルなスタートアップエコシステムを構築
2. 経済社会における構造変革とESG課題の解決を実践
3. 日本の持続的成長に貢献



カスタマイズされたプログラム

カリキュラム(例)

Value Upに向けて

- バリュー・プロポジション(顧客価値)
- 人材育成、組織戦略
- マーケティング戦略
- 投資家コミュニケーション

Demo Dayに向けて

- 資本市場/IPOの考え方
- バリュエーションの考え方
- エクイティ・ストーリーの構成要素
- ストーリーのブラッシュアップ(複数回)

Demo Day

6か月間のプログラムの締めくくりとして、各企業が海外(ニューヨークまたはロンドン)および日本国内にて潜在的な投資家と顧客に対してプレゼンテーションを行います。

外部メンター

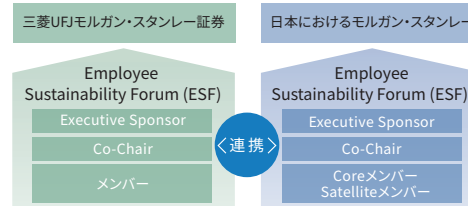
参加企業と定期的にコミュニケーションをとり、ビジネスの成長と拡大を支援するための助言や相談の機会を提供します。

社員主導のネットワークを立ち上げ

サステナビリティに関する理解深化や意識向上に加え、人材の育成を中心とした裾野拡大をめざして、社員主導でサステナビリティに関する取り組みを推進するネットワーク(Employee Sustainability Forum:ESF)を運営しています。

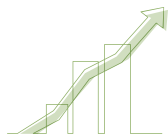
活動内容

- ・セミナーやイベント・施策の企画立案
- ・日本におけるモルガン・スタンレーのESFとの連携
- ・外部視察、ワークショップへの参加など



ESG施策②

金融経済教育の取り組み



弊社は次世代の育成を通じてより豊かな社会に貢献するため、2014年から金融経済教育に取り組んでいます。

2024年度は延べ**61,000人**がプログラムを受講しました。

■ 「株の力」シリーズ

「株の力」〈想定対象：中学生・高校生〉



起業家・投資家・社会の3つの視点から株式が経済の原動力となる仕組みを探究し、株式市場の役割や価値を学びます。ワークを通じた理解をもとに、株の力を伝える新聞広告を制作します。株式を軸とした未来創造の主体的な思考力を培います。

Voice 受講者

株について何も知らなかったのですが、株が経済や社会に重要な役割を果たしていることを知り、興味が湧きました。

「株の力 for 大学生」〈想定対象：大学生〉

株式や証券市場の機能を踏まえ、SDGsの目標から取り組む社会課題を選びます。投資や証券機能を活用した解決策をグループで検討し、発表を通じて多角的な視点を獲得。持続可能な未来に貢献する力を養います。

Voice 受講者

主体的な取り組みを通じて株式や証券会社の機能や役割について学ぶことができました。また、社会課題を学び解決策を考えるきっかけを得ることができ、有意義でした。

■ 「お金の力」シリーズ

「お金の力-VALUE」〈想定対象：小学校5・6年生〉



お金の価値が状況や視点によって変化することを、身近な仕事や買い物を題材としたカードゲームを通じて実感します。多様な価値観に触れることで、新たな発想や自分とお金との関係性を築ききっかけを得ます。

「お金の力-WILL」〈想定対象：中学生〉

偉人の言葉をきっかけにグループで議論を行い、多様な価値観に触れます。これにより、自分にとってお金とは何か、どのような方向へ使うべきかを見つめ直し、将来への指針を明確にする機会を得ます。

「お金の力-CHOICE」〈想定対象：高校生〉

お金の使い方が社会や環境へ与える影響をお金の人生ゲームを通して体験的に学びます。消費や投資による社会的インパクトを意識し、グループで意見交換することで、より有意義な選択を行うための判断力や責任感を養います。

Voice 受講者

今まであまり考えたことがなかったので、もっとお金について知りたくなりました。お金について学んだことを家族と話してみようと思いました。

金融リテラシーの向上をめざして

弊社は、若年層の金融リテラシーの向上に取り組んでいます。小学生～大学生に向けて、それぞれの年代に応じた金融経済教育プログラムを実施しています。社会で自立する力や社会と関わる力の育成を支援する金融経済教育の普及を通して、健全で質の高い金融商品の提供促進や、金融資産の有効活用、公正で持続可能な社会の実現をめざしています。また、社員のファンリテーションスキル向上を目的として、弊社の人材育成研修プログラムとしても金融経済教育プログラムを導入し、講師を学校へ派遣しています。

■ デジタルプログラムの開発

「お金の力-CHOICE-Digital」

〈想定対象：高校生〉

お金の使い方が社会や環境へ与える影響をお金の人生ゲームを通して体験的に学ぶデジタルプログラムです。消費や投資による社会的インパクトを意識し、グループで意見交換することで、より有意義な選択を行うための判断力や責任感を養います。ゲーム時の話し合いの録音を含めたログの活用、学びの定着化を目指した振り返りができる学習設計となっています。

Voice 受講者

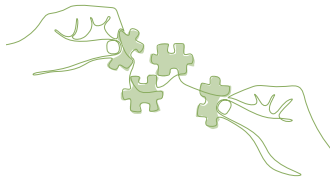
高校生である私は投資の仕組みには馴染みがなかったのですが、擬似的に投資を体験することで、お金を「増やす」ということについて解像度が上がり、興味を持ちました。

Voice 教員

南北問題やSDGs、日本の戦後史など色々な要素が詰まっています。やらされ感なく生徒が自ら学びに入れるのが魅力的でした。



ESG施策③ DEIの推進

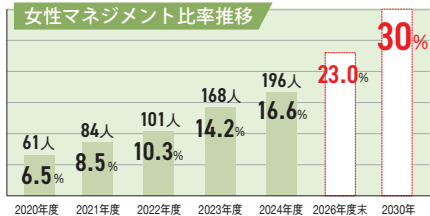


弊社は、すべての社員が持てる力を十分に発揮し、自分らしく活躍できる環境を整えることで、組織のパフォーマンスを最大化するとともに、持続的な成長と、よりよい社会の実現に貢献することをめざしています。「多様な社員一人ひとりが、それぞれの違いを尊重・考慮し、認め活かし合う」組織の実現に向け、DEI(ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)推進*に関するさまざまな取り組みを行っています。

*DEI(Diversity,Equity&Inclusion)の考えは、「D&I(多様性の受容)」に「Equityエクイティ(公平・公正)」の観点を取り入れ、個々の違いを受け入れ、考慮し、一人ひとりが力を発揮できる環境をつくることです

ジェンダーギャップの解消

女性社員がより一層活躍できるよう、階層別のメンタリングプログラム・研修を実施、多様な社員・キャリアパスを知る機会を提供するなど、自律的キャリア形成の支援を行っています。また、キャリア形成には上司のサポートが欠かせないことから、全部室店長を対象に女性登用の実践に向けたプログラムを実施しています。



女性活躍推進法に基づき、行動計画の策定・届出などを行った事業主のうち、取り組みの実施状況が優良な企業について、厚生労働大臣の認定(「えるぼし」認定(2つ星))を取得(2025年)

女性活躍推進の取り組みの実施状況が優良な企業について、愛知県が認定を行う「あいち女性輝きカンパニー」、大阪府が認定を行う「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」を取得(2025年)

仕事と生活の両立の実現

育児や介護、不妊治療をしながらでも、仕事との両立ができるよう、各種支援制度の充実化に取り組み、研修・セミナーの実施や冊子の発行による継続的な情報提供を行っています。男性の育児休業は、対象者全員の取得を会社方針として推進しており、2020年度より5年連続で取得率100%※1を達成しています。加えて、家事育児をパートナーとともに分担して実践する「共働き・共育て※2」を推進しています。

※1 当該年度育児取得期限の男性社員全員が取得したの

※2 子育て当事者のカップルが共に、子どもと過ごす時間をつくり、相互に協力しながら子育てをするこ



厚生労働省
プラチナくるみん
「子育てサポート企業」として高い水準の取り組みを行った企業が受けることができる、厚生労働大臣の特例認定(プラチナくるみん認定)を取得(2019年)



厚生労働省
トモノン
仕事と介護を両立できる職場環境の整備に取り組んでいる企業の証「トモノン」を取得

ダイバーシティ推進専門誌「evolution」を発行

弊社のDEI推進に関する活動をすべて掲載し、全社員に配信しています。

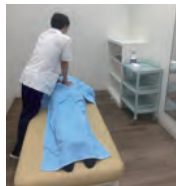


【2025年度版PDF】



誰もが活躍する職場づくり

多様なバックグラウンドを持つ社員が、属性やアイデンティティに関わらず活躍できる職場をめざし、働く環境の整備や、ともに働く社員の理解を深めるための取り組みを行っています。また、障害者手帳を有する社員が障がいによる通院や治療などを行う場合に利用可能な「障がい者サポート休暇」を導入しています。



役職員の健康増進に向け、視覚に障がいを持つ社員が、ヘルスキーパー(あん摩マッサージ指圧師の国家資格者)として施術(2022年本社にマッサージ室を開設)

任意団体 work with Pride
PRIDE指標「ゴールド」
work with Pride



LGBTQに関する企業の取り組みを評価する「PRIDE指標」において、最高評価の「ゴールド」を4年連続受賞(2023年)

誰もが働きやすい職場環境へ

全社員対象研修の実施などにより、多様な人材が活躍する組織づくりを各自が考える機会を提供し、「心理的安全性」のあるチームを作ることや個々の違いを受け入れ、考慮する「エクイティ」の考え方の重要性を伝えています。加えて、全社員必須受講のEラーニング実施など「女性特有の健康課題」に関する取り組みも開始しており、生理および更年期障害により就業が著しく困難な場合に利用可能な「ヘルスケア休暇」を導入しました。



2025年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2025(大規模法人部門(ホワイト500))」に認定(健康経営優良法人のうち、上位500法人)



2025年3月、女性特有の健康課題である「生理痛」をVR体験する「生理痛体験会」を本社 大手町グランキューブにて開催

コーポレート・ガバナンス体制

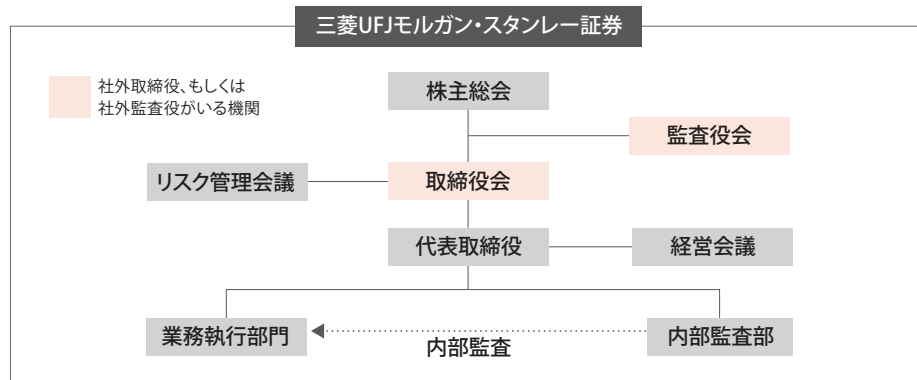
取締役会・監査役会

取締役15名※1のうち3名が社外取締役であり、取締役会の活性化と経営の透明性向上を図っています。また、監査役会を設置し、監査役4名(うち社外監査役2名)が取締役の職務執行の適正性について監査しています。※2

※1 取締役15名のうち3名が女性取締役です。 ※2 2025年8月1日現在

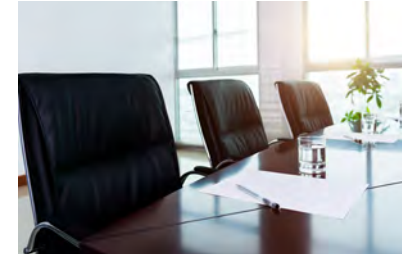
主要会議

取締役会が決定した基本方針に基づき、「経営会議」が経営全般や業務執行に関する重要事項を、「リスク管理会議」がリスク管理全般に関する重要事項を審議・決議することによって、意思決定の迅速化を図っています。



コンプライアンス

経営会議の諮問機関として社外弁護士もメンバーとした「コンプライアンス委員会」を設置し、役職員が一体となりコンプライアンスの徹底に取り組んでいます。



金融犯罪・反社会的勢力の排除への取り組み

弊社サービスを介したマネー・ロンダリングなどの金融犯罪や、贈収賄行為への加担防止に努め、また反社会的勢力に対し、経営トップ以下組織全体で、警察・弁護士などと連携し、毅然とした態度で対応しています。



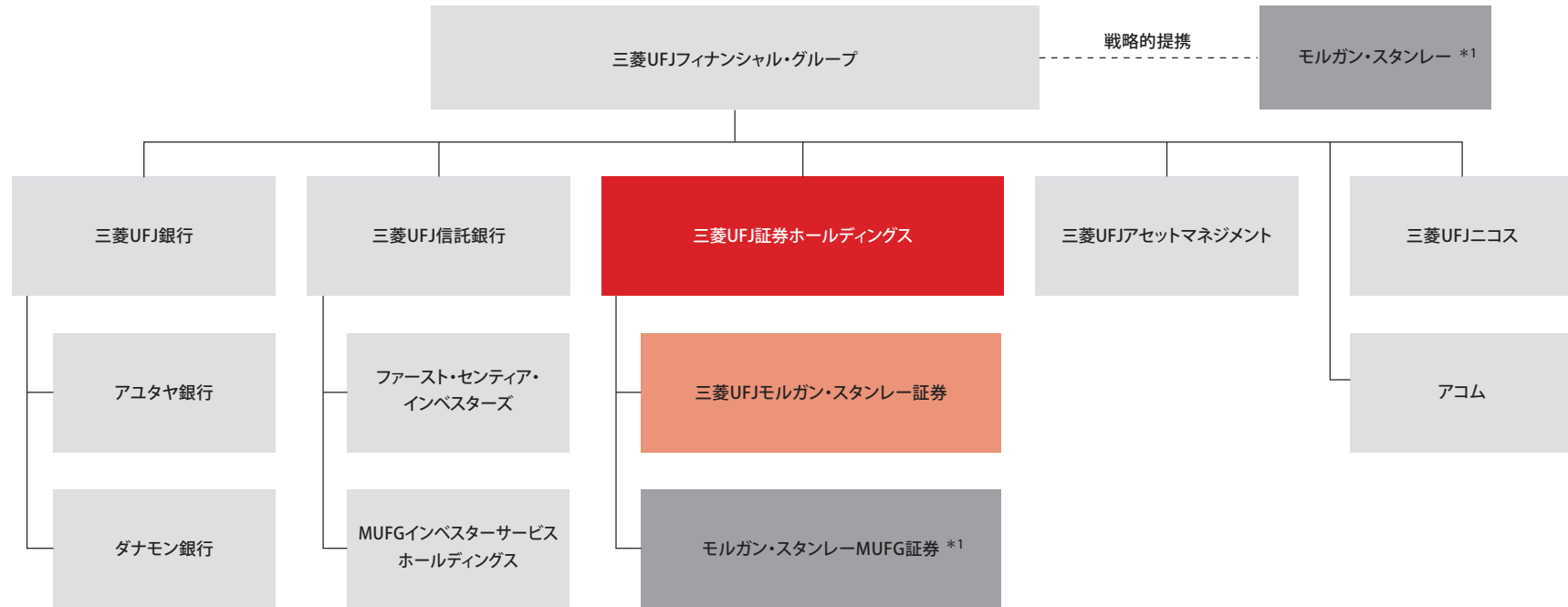
情報セキュリティ管理

弊社は個人情報保護方針の遵守やシステム面における監視態勢の強化などを通じ、お客さま情報の保護に万全を尽くしています。



三菱UFJ証券ホールディングスについて

グループストラクチャー



*1 持分法適用会社

Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities

<https://www.sc.mufg.jp>

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号

加入協会 日本証券業協会・一般社団法人 資産運用業協会・一般社団法人 金融先物取引業協会・
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会・一般社団法人 日本STO協会



Corporate site



YouTube



Facebook